

事務事業名	H22新規 学校ホームページ保守管理事業		所属部局	教育委員会		単位番号	12503								
			所属課室	南アルプス教育推進課		課長名	秋山光永								
	☐ 実施計画事業		所属担当	教育指導担当		担当者名	小林智奈美								
基本政策	基本計画体系	個性と文化を育む都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目					
政 策		23 学校教育の充実	事業区分	01	一般	1	0	1	0	2	0	2	0	3	7
施策		36 「生きる力」を育む学校教育の推進		☐ 国の制度による義務的事業 ☐ 施設等維持管理事業 ☐ 県の制度による義務的事業 ☐ 補助金交付事業 ☐ 市の制度による義務的事業 ☒ その他の事業 ☐ 義務化されている協議会等の負担金											
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 22 年度)	期間限定複数年度 (~ 年度)	法令根拠												
事務事業の概要	事業の内容…期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 学校ホームページの管理を委託し、22校のホームページ設置等の問題解決を容易にする。研修等を行い、担当教師の技術を向上させ、学校ホームページの充実を図り、開かれた学校づくりの一途とする。			事業費の主な内訳 (22年度)											
				項目(細節)		金額(千円)		項目(細節)		金額(千円)					
	委託料					298									
								計		298					

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

活動	
22年度活動実績	学校HPの保守管理業務委託。受託業者によるHP更新技術研修を行い、各学校担当者の技術向上を図った。
23年度活動予定	上記に同じ
対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	
学校、教員、学校ホームページ	
意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていのか、どのように変えるのか)	
学校情報や活動内容を各学校で速やかに情報発信を行う。更新する際に、速やかに問題解決が図れること。	
上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	
各学校の特色ある事業や研究事業を、ホームページにより情報発信及びPRを行い、学校への理解、透明性のある学校づくりを行う。	

活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア HP管理業務対応件数	件
イ HP更新担当者研修会出席者	人
ウ	
対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 学校	校
イ 教員	人
ウ 学校HP	件
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 各校情報更新回数	回
イ 問題件数	件
ウ	
上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 学校	校
イ	

(2) 事業費・指標の推移				単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年間 トータル コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			県支出金	千円							
			地方債	千円							
			その他	千円							
			一般財源	千円		294	294	294	294	294	
	事業費計 (A)			千円	0	294	294	294	294	0	
	人件費	正規職員従事人数	人		2	2					
		延べ業務時間	時間		10	10					
		人件費計 (B)	千円	0	45	40	0	0	0	0	
		(A) + (B)	千円	0	339	334	294	294	294	0	
活動指標		ア	件		11.0	11.0	11.0	11.0	11.0		
		イ	人		68.0	68.0	68.0	68.0	68.0		
		ウ									
対象指標		ア	校		22.0	22.0	22.0	22.0	22.0		
		イ	人		68.0	68.0	68.0	68.0	68.0		
		ウ	件		22.0	22.0	22.0	22.0	22.0		
成果指標		ア	回		528.0	528.0	528.0	528.0	528.0		
		イ	件		11.0	11.0	11.0	11.0	11.0		
		ウ									
上位成果指標		ア	校		22.0	22.0	22.0	22.0	22.0		
		イ									

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか？	平成20年度学校評価の充実・改善のための実践研究事業においてホームページを情報公開の場として活用し、平成21年度にホームページを開設。
事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか？また、今後の予測は？	開かれた学校づくり、また地域や保護者への学校活動のPRとしてHPの開設は必須となってきている。今後も、学校情報の発信する一つの方法として開設していく。
事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか？	広く情報を公開していく上で、HPはとても有効な情報発信ツール。

(4) 改革改善の取り組み状況

改革改善の取り組み実施は？	☒ 取り組みしている 【内容！】 ☐ 取り組みしていない 【理由！】
これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	HPの更新技術については、各校の担当者が研修を受講し、情報発信についての技術向上を図ってきている。
H 22年度に実施した改革改善の内容	担当者研修会の開催

事務事業名	H22新規 学校ホームページ保守管理事業	所属部	教育委員会	所属課	南アルプス教育推進課
-------	----------------------	-----	-------	-----	------------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない(見直し余地がある) 【理由↓】 ☒ 結びついている 【理由↓】 学校情報の発信ルートの確立。地域ぐるみの学校活動を広く周知を図ることへの一助となっている。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	公共関与との妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある 【理由↓】 ☒ 妥当である 【理由↓】	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☒ 見直し余地がある 【理由↓】 ☐ 適切である 【理由↓】 HPの情報更新については、学校のHP担当者の研修を行ってきており、各学校での対応ができるようになってきている。今後は、保守管理については委託していくもの、研修について見直すことができる。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
有効性 評価	成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ 向上余地がある 【理由↓】 ☒ 向上余地がない 【理由↓】	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある (類似する事務事業の名称を記入↓) ☐ 統合・連携ができる 【理由と具体案↓】 ☐ 統合・連携ができない 【理由↓】 ☒ 類似事務事業がない	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり 【理由と影響の内容↓】 HPのシステムについては、	☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない 【理由↓】
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☒ 削減余地がある 【理由・具体案↓】 ☐ 削減余地がない 【理由↓】 学校HPの担当者技術が向上することで、HP担当者研修会の開催内容を見直すことで、コスト削減は可能。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
	人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☒ 削減余地がある 【理由・具体案↓】 ☐ 削減余地がない 【理由↓】 学校HPの担当者技術が向上することで、HP担当者研修会の開催内容を見直すことで、コスト削減は可能。	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映
公平性 評価	受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある 【理由・具体案↓】 ☒ 公平・公正である 【理由↓】	3評価(Check2)・4今後の方向性に反映

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり 効率性 ☐ 適切 ☒ 見直し余地あり 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	学校の情報発信ツールとして一躍かっているホームページは、各学校の担当者の技術向上にともない、それぞれがユニークなアイデアを活かし、学校事業の紹介等を行っている。 今後、担当教員の技術向上を見据え経費の削減ができるか検討していきたい。但し、人事異動にともなう、担当教員の変更がある場合、ある一定の研修は必要になってくるので、今後も業務内容や委託金額など、検討していく必要がある。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
☐ 廃止(目的妥当性 、 、 の結果) ☐ 事業統合・連携(有効性 の結果) ☐ 公平性改善(公平性 の結果) ☐ 休止(目的妥当性 、 、 の結果) ☐ 成果向上(有効性 の結果) ☐ 現状維持(全評価項目で適切) ☐ 必要性検討(目的妥当性 、 、 の結果) ☒ コスト削減(効率性 、 の結果)	<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト水準</th></tr> <tr> <th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th><th>向上</th><td>☐</td><td>☐</td><td>☐</td></tr> <tr> <th>維持</th><td>☒</td><td>☐</td><td></td></tr> <tr> <th>低下</th><td>☐</td><td></td><td></td></tr> </table> 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☒	☐		低下	☐		
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	☐	☐	☐																		
	維持	☒	☐																			
	低下	☐																				
(2) 改革改善案について 教員のHP更新技術や管理技術を図ることで、契約内容の見直しを行う。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 HP更新技術研修を行い、その受講者は校内研修を行い各校担当者以外もHPを更新できる技術を持つこと。	(5) 事務事業優先度評価結果 <table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td><td></td></tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td><td></td></tr> </table>	成果優先度評価結果		コスト削減優先度評価結果																		
成果優先度評価結果																						
コスト削減優先度評価結果																						